

要 望 書

羽越本線高速化及び羽越新幹線建設の促進について



令和2年11月13日

羽越本線高速化・新幹線整備促進新潟地区同盟会
山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会
羽越新幹線整備促進秋田地区期成同盟会

新潟県知事

花角英世



山形県知事

吉村美栄子



秋田県知事

佐竹敬久



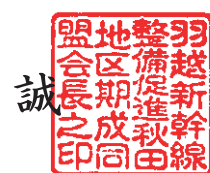
羽越本線高速化・新幹線整備促進新潟地区同盟会
会長 新潟市長 中原八



山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会
会長 鶴岡市長 皆川



羽越新幹線整備促進秋田地区期成同盟会
会長 由利本荘市長 長谷部



羽越本線高速化及び羽越新幹線建設の促進について

羽越本線は、日本海沿岸地域を縦貫する大動脈であり、全国幹線鉄道網の一翼として、環日本海時代に対応した我が国の発展に欠くことのできない極めて重要な路線であります。

平成23年の東日本大震災においても、東北地方と首都圏等との移動手段や被災地へ向けた物資の補給路となるなど、震災時における代替補完機能を発揮し、日本海国土軸形成の必要性・重要性を示したところであります。

他方、本路線の高速化は全国的にみても特に遅れており、また、冬期間を中心に強風や豪雪による運休や遅延を余儀なくされ、運行の信頼性が低迷しているというのが実態であります。

こうした中、新潟駅の連続立体交差事業の進捗に伴い、新幹線と白新線・羽越本線の同一ホーム乗り換えが平成30年4月に開始し、平成31年3月のダイヤ改正で特急いなほの全定期列車に対応できたことは大きな前進であり、羽越本線の一層の高速化、時間短縮につながるさらなる事業推進が望まれます。

羽越本線は、旅客や貨物の大量・高速・遠距離輸送手段として、また、地域住民の通勤・通学、余暇活動などの日常生活を支える足として非常に重要な社会基盤であります。

さらには、将来にわたり地域における自立的発展を可能とし、また、太平洋側の高速鉄道網とのダブルネットワークの構築により、安全・安定輸送の機能強化と災害に強い国土を形成していくためにも、昭和48年の政府の基本計画に定められた羽越新幹線の整備が必要不可欠であります。

また、今年新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域に深刻な影響が生じていることから、地域経済の回復を図るための需要喚起施策が各地で実施されています。そのうえで国のさらなる需要喚起策や、令和3年7月開催予定の東京オリンピック・パラリンピック競技大会といった交流人口拡大の機会を最大限活かし、首都圏と新潟・山形・秋田の三地区を周遊する人の流れを創出

するためには、国や鉄道事業者、沿線地域などが一層連携を深めていく必要があります。

つきましては、羽越本線の高速化及び羽越新幹線の早期実現に向け、次の事項について特段のご配慮をいただきますようご要望申し上げます。

記

- 1 羽越本線の路線改良、複線化の推進などにより高速化を促進すること
- 2 新潟駅における新幹線と白新線・羽越本線の同一ホーム乗り換えを活かしたさらなる接続改善に努めること
- 3 羽越新幹線を整備計画路線に格上げするための法定調査を開始すること
- 4 国、鉄道事業者、沿線地域間の連携強化を図ることで、羽越本線における利用者の拡大及び地域振興施策などの展開に向けた取組を強化すること

